

「日々の机」
古き代の戀ひ人どものなげき歌
訓み釋きながら 老いに到れり
（「遠やまひこ」）
釈 遥空

国学院大学 令和3年11月20日(出) 定期号(毎月20日発行) 1部20円
【発行】国学院大学 【編集】総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目 【電話】03(5466)0130 【FAX】03(5466)0528

祭 儀 ■ 月次祭・新嘗祭 12月1日(水)午前10時 神殿



国学院大学 神殿と祭儀

「先ず神事」の精神「忘れず

神道精神に基づく人材育成を掲げる国学院大学は、天照大御神をはじめ八百万の神々をキャンパス内の神殿に奉斎している。年間に行われる祭儀は20回を超える。天皇誕生日に執り行う天長祭や、建国記念祭など全国の神社と同様に執り行う祭儀をはじめ、入学奉告祭、卒業奉告祭など学校法人ならではのものもある。

中でも重要とされるのが年に2回行われる大祭と慰霊祭。毎年5月1日の神鎮座記念祭、11月4日の創立記念日に行う創立記念祭と関係物故者慰霊祭がそれにあたる（今年は11月1日に執行）。

神殿の祭儀には、神職資格を持つ教職員の中で、理事長から委嘱された神職奉斎員と祭儀員が中心となつて奉仕する。教員で唯一の神職奉斎員として祭儀を執り行うのが、神道文化学部の茂木貞純教授。大学で祭儀を続ける意義について「本学の母体である皇典講究所が明治15（1882）年に設立されて以来、大学独自の祭儀を執り行ってきた。神事に対する意識は時代によって変化したが、姿勢や作法の心は変わらない」と話す。

祭儀には学生たちでつくるサークル「瑞玉会」の会員が祭典の準備をはじめ、祭員や舞人として奉仕する。学生たちは日ごろから課外活動として祭儀の作法を学ぶ。学生が祭儀に参加する点も教育機関の大きな特徴と言える。

全国の神社での祭儀について茂木教授は「全国には約8万の神社があり、それぞれの歴史や祭儀がある。神々をお祭りする祭儀は、村や町の原点」と話す。中面では、茂木教授へのインタビューと、祭儀員や学生の声を詳報する。

2・6・7面に関連記事

岡野弘彦名誉教授に文化勲章

本学卒業生で初

政府は10月26日、今年度の文化勲章受章者9人を発表し、歌人の岡野弘彦名誉教授（文化功労者、日本芸術院会員）が選ばれた。伝統を重んじる一方で、長歌と短歌を組み合わせた「組歌」の創作にも取り組んだほか、後進の指導にも尽力したことが評価された。

本学卒業生での文化勲章受章は初めて。本学教員（退職後を含む）では、柳田国男（昭和26年、民俗学）、金田一京助（29年、アイヌ文学）、諸橋轍次（40年、漢文学）、坂本太郎（57年、日本史学）、丸谷才一（平成23年、小説）に次いで6人目となる。

岡野名誉教授は、大正13（1923）年生まれ。本学在学中に折口信夫元教授が指導する短歌結社に加わり、創作を始めた。昭和32年に本学文学部専任講師、36年助教、44年教授。学生部長、文学部長、折口博士記念古代研究所所長などを歴任した。

本学教員として教壇に立つ傍ら、歌作に励み、48年に歌集『滄浪歌』で遥空賞。54年から宮中歌



親授式を終え記念撮影に納まる岡野名誉教授(左から3人目) [産経新聞社提供]

会始の選者となり、58年からは宮内庁御用掛（御歌）として、昭和天皇をはじめ皇族方の和歌指導を四半世紀にわたり務めた。63年に紫綬褒章、平成10年に勲三等瑞宝章、25年に文化功労者。文化勲章の親授式は11月3日に皇居で行われた。

駅伝、野球、柔道、卓球 学生の活躍続々

K・DNA面へ

みはるかすもの

月をめぐる神話や物語などの伝承は、世界各地にある。『古事記』の月読命（『日本書紀』では月神など）、『竹取物語』など枚挙にいとまがない。グリム童話には、月や星が昇らない国の話『月』が収録されている。▼月が昇らない国の4人の若者が別の国で、夜に木の上に置かれていた明るく丸いランプ（月）を見つけ、持ち出した。4人が持ち帰ったランプで町の夜は明るくなり、人々は大喜び。4人はランプの明るさを保つための油代で利を得たのだ▼時を経て、老いた4人が自分たちの死とともに月を遺産として4分の1ずつ分けて墓に入れてしまい、町には再び暗闇が戻る。一方、地下

にある死者の世界は月の光が持ち込まれ大騒ぎ。騒ぎを聞きつけた天国の門番の聖ペテロは、騒ぐ死者たちを鎮め、月を空に掛けたのであった▼暗闇の中で光は安心をもたらすが、人通りが増えた渋谷の街角では、煌々と輝くスマートフォンを見つめながら歩く人にヒヤリとする機会が増えた。画面を見つめ、イヤホンで耳を塞いで、そこまで外界と自身を遮断しなければならぬのか▼今年7月の夜、「歩きスマホ」で踏切を渡っていた女性が、遮断機が下りた踏切内に留まり、列車にはねられる事故が発生した。報道によればスマホに気をとられて、踏切の外にいたいと思ひ込んだ可能性があるという▼秋の日は釣瓶落とし。まぶしく光る四角い画面はしばらくポケットに収めて、澄み切った空に浮かぶ月や星を眺める秋の夜長であってもいいのでは。



創立記念祭・関係物故者慰霊祭を執行

理事長・学長らが展墓

学校法人国学院大学では、創立記念日を迎えるにあたり、佐柳正三理事長、針本正行学長ほか役員らが10月28日、豊島岡御墓所に皇典講究所初代総裁・有栖川宮熾仁親王と高松宮宣仁親王・同喜久子妃を参拝した。また、護国寺檀徒墓地に皇典講究所初代所長・山田顕義伯の展墓を行った。



法人出資の事業会社を設立

学校法人国学院大学は創立記念日である11月4日、法人が100%出資する事業会社を設立した。会社名は「株式会社アローズ・ケイ・渋谷」(代表取締役社長 城所俊哉)で事業所は渋谷キャンパス内に置く。

主な事業は施設の貸出、管理業務、制服事業やオリジナルラベルウオーターの作成・販売など。

永年勤続者表彰に26人

学校法人国学院大学では創立記念日を迎えるにあたり、勤続45・40・30・20年の節目を迎えた本法人傘下各校の教職員26人を表彰した。国学院大学の教職員に対しては11月1日、渋谷キャンパスで佐柳正三理事長から表彰状が授与された。

表彰者は次のとおり(敬称略)。

【勤続45年】和合香代子、井口良子(以上大学)

【勤続40年】斉藤こずゑ、山口耕司、川島富貴子、堀口裕美子(以上大学)、熊谷尚秀(国学院高等学校)、森野ゆかり(国学院大学附属幼稚園)

【勤続30年】石井研士、東海林孝一、中村大介、安達匠(以上大学)、太田信二(国学院大学北海道短期大学部)、平山美永(国学院高等学校)、海保直見(国学院大学久我山高等学校)

【勤続20年】高橋大助、野村一夫、石山昭彦、広瀬健一(以上大学)、草薙恵美子(国学院大学北海道短期大学部)、山田暁生(国学院高等学校)、三澤絵里、三浦啓和、中野誓子(以上国学院大学久我山高等学校)、片山浩史、中島五郎(以上国学院大学久我山中学校)



久我山高校4部会が全国大会

国学院大学久我山高等学校の4部会が以下の全国大会への出場を決めた。

▷バスケットボール(男子)第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会(12月23日(木)~29日(水))▷ラグビー部第101回全国高等学校ラグビーフットボール大会(12月27日(月)~来年1月8日(土))▷陸上競技部男子第72回全国高等学校駅伝競走大会(12月26日(日)12時30分~)▷野球部第52回明治神宮野球大会



晴天の下、厳粛に行われた創立記念祭



神道化学部生が「慰霊の舞」を奉納(関係物故者慰霊祭)

学校法人国学院大学は、11月4日に母体である皇典講究所の創立から139年を迎えるにあたり、1日に創立記念祭をはじめ関係物故者慰霊祭を渋谷キャンパスで執行した。

創立記念祭(斎主■大野晴仁神殿奉斎員・法人事務局部長)には、佐柳正三理事長、針本正行学長ら法人、大学の役職員らが参列。新型コロナウイルスの感染予防のため、昨年に続き学生や一般職員らの参列は見送られた。祭典では、祝詞奏上に続き神道化学部生による「浦安の舞」が奉仕され、今後の本法人と傘下校の発展を祈念した。関係物故者慰霊祭(斎主■茂木貞純神殿奉斎員・神道化学部教授)では、創立以来、物故した役職員や学生生徒、とりわけこの1年間に亡くなった法人各校の関係者の御霊を迎え齋行された。神道化学部生による「慰霊の舞」などが奉仕され、佐柳理事長、針本学長に続き、遺族らが祭壇に玉串を捧げ拝礼し、物故者をしのんだ。

「日本資本主義の父」が救った危機

渋沢栄一と国学院大学の復興

学問ノ道 第38回

今年「日本資本主義の父」と謳われた渋沢栄一の没後90年にあたり、新紙幣の肖像になることからも再び脚光を浴びている。渋沢は幕末から昭和までを生き、多くの企業に携わったことは言を俟たないが、実は国学院大学の歴史とも深く関わる人物なのである。本学は明治35(1902)年、39年に二度の火災に遭い、復興と規模拡張を企図して、明治40年2月11日付で「国学院大学拡張趣意書」が皇典講究所長・国学院大学長の佐佐木高行によって頒布された。このとき協力者たる「賛襄」として、公爵・子爵・男爵など名だたる人物54人が委嘱され、そのなかに「男爵 渋沢栄一」の名も



渋沢栄一(国立国会図書館)

あった。渋沢はこれを契機として、翌年2月には皇典講究所顧問に就任し、事業拡張に尽力することとなった。顧問就任時には、金一千円を本学に寄付している。佐佐木所長・学長は、渋沢をはじめとする7人の顧問に、新校舎建築のための募金名義人を委嘱し、広く有志に向けて協力を要請した。だが、募金活動は低調に終わり、銀行から融資を受けながら、41年4月に新校舎が竣工した。さらに同年2月に新設された国学院大学出版部の事業失敗も重なって、佐佐木に代わり鍋島直大が所長・学長に就任したときには、本学は巨額の負債を抱えていたのである。渋沢は、顧問として出版部が刊行した書籍を財界人に勧めるなど、人脈を生かした活動を行うだけでなく、財政立て直しのために非常に努力を払ったのであった。渋沢は、45年に、飯田町校地の一部を鉄道院に売却して急場をしのぐべく斡旋し、鍋島所長・学長のもと諸氏と協力しながら皇典



渋沢らの尽力で明治41年に復興した飯田町新校舎

講究所・国学院大学の維持経営に奔走したのであった。同年6月12日の協議員会において、本所・本学の会計調査の顛末を述べ、債務整理、償還に至った経緯を説明した。このとき渋沢らが作成した「負債償却財源調」によると、鉄道院に売却した土地代のほかに、財源としては借入金や寄贈金、本学維持費、そして渋沢をはじめとする諸氏の援助に負うところが少なくなかったことがわかる。また、この翌日に渋沢は、内務大臣の原敬のもとを訪ね、国学院補助費支給を懇請し理解を得ている。このように、明治末期において渋沢栄一の尽力無くして、本所・本学の維持・発展はなかったものと思われる。渋沢は生涯に亘り、多くの企業、公共事業、教育機関に携わったが、本学もその一つであることを、我々は承知しておかなければならない。

在学生保護者に オンライン個別面談

国学院大学在学生の保護者（若木育成会会員）を対象に、学生の成績や就職などに関する相談に応じる個別面談が10月17、23～24日の3日間、ビデオ会議システム「Zoom」を用いて実施された＝写真。面談は事前予約制で、全国から150人を超える保護者から申し込みがあり、教務課やキャリアサポート課の職員らが相談に応じた。

同会を担当する校友課ではこのほか、保護者に向けた大学の各種支援体制などのガイダンス動画を大学ホームページで公開している＝QRコード。



留学へ向け Go Global Weekを開催

令和4年度に海外留学を希望する在学生へ向けた説明会や個別相談を行うGo Global Weekが10月13日から19日にかけて渋谷キャンパスで開催された。

14日には、対面とオンライン配信の併用で認定留学説明会を実施し、学生約20人が参加した＝写真。説明会では、国際交流課の担当者が新型コロナの影響を受ける各国の留学生受け入れ状況や留学先の探し方、本学の留学支援奨学金制度などを説明。学生は熱心にメモを取りながら耳を傾けていた。

国際交流課は「各国の感染状況を見ながら留学希望者に相談や説明など支援を行っていききたい」としている。



法学会 弁護士を招き講演会

今年度の第1回法学会講演会が10月25日に渋谷キャンパスで開催され、学生ら約40人が参加した。当日は柿沼彰弁護士（柿沼彰法律事務所）が「裁判実務における法律の解釈適用の争い方—大学での学びがどのように役立つのか—」と題し講演を行った＝写真。

柿沼弁護士は「ドラマなどのイメージと違い、刑事、行政事件を扱うことは少ないが、法律相談や契約書の確認など法律事務を行える弁護士が必要とされる場面が多くある」と、弁護士に必要な能力や裁判の流れなどを説明した。その上で「大学では法律の解釈適用をしっかりと学んでほしい。司法修習生、弁護士に進んでも必ず生きる」と語り、自身が司法修習生時代に携わった裁判を例に挙げ「法律には解釈の違いや議論がある。何が問題の本質なのかを捉え、議論自体から学んでほしい」とアドバイスを送った。



令和4年度 学費一覽

令和4年度学費は次の通りです。

(単位：円)

学部

区分	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
文学部	令和4年度	240,000	760,000	210,000	10,000	1,220,000
経済学部						
法学部						
神道文化学部						
人間開発学部						
観光まちづくり学部	240,000	800,000	250,000	10,000	1,300,000	
文学部	令和2～3年度	—	760,000	210,000	10,000	980,000
経済学部						
法学部						
神道文化学部						
人間開発学部						
人間開発学部	800,000	250,000	10,000	1,060,000		
文学部	令和元年度以前	—	700,000	201,000	10,000	911,000
経済学部						
法学部						
神道文化学部						
人間開発学部						

備考 再入学者の入学金については半額とする

別科

(単位：円)

入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	実習料 (入学年度のみ)	合計
令和4年度	145,000	420,000	81,000	10,000	6,000	662,000
令和3年度以前	—	420,000	81,000	10,000	—	511,000

専攻科

(単位：円)

出身別	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
本学卒	令和4年度	120,000	760,000	105,000	10,000	995,000
		240,000	760,000	210,000	10,000	1,220,000
他大学卒	令和3年度	—	760,000	105,000	10,000	875,000
		—	760,000	210,000	10,000	980,000

備考 本学出身者の入学金および施設設備費は半額とする

大学院

(単位：円)

区分	出身別	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
前期課程	本学出身	令和4年度	100,000	505,000	100,000	10,000	715,000
		令和3年度以前	—	505,000	100,000	10,000	615,000
	他大学出身	令和4年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
		令和3年度以前	—	505,000	200,000	10,000	715,000
後期課程	本学(前期)出身	全入学年度	—	505,000	—	10,000	515,000
	学部本卒前期他修	令和4年度	100,000	505,000	100,000	10,000	715,000
		令和3年度以前	—	505,000	100,000	10,000	615,000
	他大学院(前期)出身	令和4年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
令和3年度以前		—	505,000	200,000	10,000	715,000	

備考 1. 授業料、施設設備費、維持運営費は在学中毎年度納入するものとする
2. 本学出身者の入学金及び施設設備費については次の通りとする
イ. 前期課程＝半額
ロ. 後期課程＝本学前期課程修了者は徴収しない。本学学部出身者で、他大学前期課程修了者は半額

柔道部 川上智弘コーチ

全日本ジュニアコーチ就任



日本柔道の発展に貢献したい。コーチとして得たものを大学に持ち帰ることができると、抱負を語った。

全日本柔道連盟は10月11日、3年後のパリ五輪に向けた日本代表の新たなコーチ陣を発表し、男子ジュニアコーチに国学院大学柔道部の川上智弘コーチ（事務局付職員）が就任した。新たに就任した鈴木桂治監督の下、東京五輪で史上最多の5個の金メダルを獲得した柔道男子のさらなる強化に臨むことになる。

川上コーチは本学在学中、男子81kg級で活躍。全日本学生柔道体重別選手権（平成20年）、全日本ジュニア（21年）などの国内大会での優勝の実績があるほか、23年のグランドスラム東京で優勝するなど国際大会でも活躍してきた。24年のロンドン五輪代表選考では、最終選考まで代表の座を争った。28年に選手を引退したのちは、本学柔道部コーチとして、学生の指導を続けている。

コーチ就任を受け、「重大な任務、責任ある立場に選んでもらった。国学院柔道の『しっかり持つてしっかり投げる』を重視して、

持続可能な地域の実現探る

第2回「観光まちづくり」フォーラム

観光まちづくり学部開設を来春に控えた国学院大学は11月8日、観光・交流を活用したしなやかで豊かな地域社会の未来を考える「第2回『観光まちづくり』フォーラム」を開催した。

第1部では主催者、来賓あいさつに続いて初代学部長に就任予定の西村幸夫教授が「地域を見つめ、地域を動かす」をコンセプトとした新学部の概要を説明。第2部シン

ポジウム「私たちの考える観光まちづくり」では、各地のキーパーソンと新学部教員がペアになって事例報告した。

大分・由布院で由布市まちづくり観光局代表理事を務める桑野和泉氏と米田誠司教授は、明治神宮の森を設計した本多静六博士がルーツの由布院開発は「滞在型保養温泉地」をキーワードに100年計画で進んでいると紹介し、「ワクワクする出会いを提供し、住民も来訪者も幸せになれる場を目指す」と強調。

東京・谷中をフィールドとする椎原晶子教授は「再開発による古い建物の減少や来街者の過剰な入り込みによる摩擦」といった問題点を指摘。木造アパートをリノベーションして地域連携型の「まちやど」を展開する建築家の宮崎晃吉氏は「住民の日常を感じさせるツーリズムが理解され、同様の取り組みが全国22カ所にまで広がった」とした。

観光資源を疲弊させないエコツーリズムを三重・鳥羽で実践する鳥羽市エコツーリズム推進協議会会長の江崎貴久氏は、「漁業との関わりが深い鳥羽では、水産資源を過度に消費せず地域と同じ痛みを感じる観光が求められている」とし、下村彰男教授らとの関わりの中から「漁観連携」といった新たな枠組みを編み出しつつ進めていることを報告した。

事例報告後の討論では「夢を語りながら長い時間軸で観光を考えるべきだ」（桑野氏）、「失われつつある町の記憶を守り、地域と暮らす事例を積み重ねたい」（宮崎氏）、「コロナ後には『住む』と『観光』の隙間を埋めていくことも大事」（江崎氏）などの意見が出された。

主催者・来賓あいさつ要旨

学校法人国学院大学・佐柳正三理事長

「創立139年を迎えた国学院大学は文学など、人文社会系の学問を中心に展開してきたが、（観光まちづくり学部開設を機に）有栖川宮職仁親王の『告諭』にある『本ヲ立ツル』に立ち返って日本の根底にある物を見直し、地域に軸足を置いて豊かな社会を実現させたい。新学部で学ぶ学生は世界に誇れる国づくりのエンジンになるはずだ」



国学院大学・針本正行学長

「（コロナ禍という）未曾有の災禍が世界を襲い、地域社会のあり方、生きる人々にも大きな影響を与えている。こういう時こそ、地域を見つめ、動かすことが大事ではないだろうか。今回の『観光まちづくり』フォーラムでの提言がこれからの観光まちづくりの道標となるものと信じている」



日本観光振興協会・久保田稔理事長

「コロナ禍の苦境に直面し、地域経済への打撃も広がっている。『観光は不要不急』といわれるが、感染が収まれば旅行への欲求も高まる。学習や癒やしに不可欠な観光は文化活動でもあり、経済効果もある。その資源を有機的に結びつけることを観光まちづくり学部に期待している」



経済学部 オンラインシンポジウム デザイナーとデザイン思考をテーマに開催

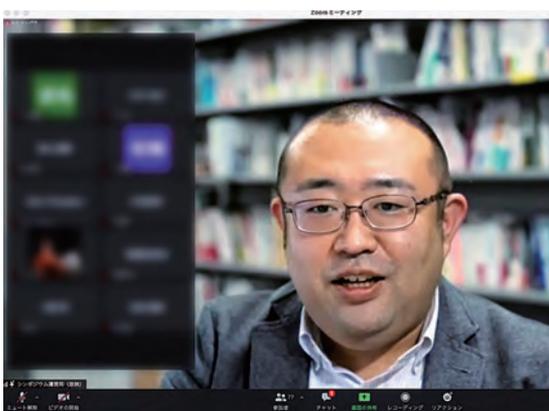
「デザイナーとデザイン思考 経営学の到達点」をテーマにした経済学部シンポジウムが11月6日、ビデオ会議システム「Zoom」を用いたオンラインで開催され、約80人が参加した。

尾田基経済学部准教授がコーディネーターとなり、森永泰史・京都産業大学経営学部教授と吉岡（小林）徹・一橋大学経営管理研究科講師による講演と質疑応答を行った。

森永教授は「新しいものを生み出す、何かを変えていくデザインやデザイナーは、イノベーションと親和性が高く、もっとも密接に関わっていた。ビジョンやコンセプトへのユニークな着眼点や可視化能力、試行錯誤型の問題解決能力などは、新しいビジネスや製品、サービスを生み出すときに必要なことだ」と述べた。

吉岡（小林）講師は「デザイン思考はユーザーへの共感や課題の定義、解決策の着想や試作などのプロセスに分かれる。そのプロセスによって、組織目線からの脱却や同調圧力の回避といった利点が得られる。合理的に組織の呪縛から逃れた着想や根回しを行いながら、事業戦略の立案を進める手法のパッケージといえる」と解説した。

チャット機能を通じた受講者との質疑応答では多くの質問が寄せられ、「デザイン思考をどう受け入れるかアドバイス」との問いに「デザイン思考のエッセンスである早い段階での試作などを取り入れてみてほしい」（森永氏）、「人はどうしても自分目線になりがち。共感を得るためにも客観的な検証に生かしてほしい」（吉岡（小林）氏）と応じた。



コーディネーターを務めた尾田准教授

人間開発学部 学びの成果 地域に還元



「共育フェスティバル」子どもたちに工作を教える学生たち

人間開発学部が地域貢献の一環として開催する「共育フェスティバル」が10月31日、たまプラーザキャンパスで新型コロナウイルスの感染予防策を講じて行われた。このイベントは、学生らが企画立案や準備を行い、地域の住民や子どもたちと触れ合いながら学びの成果を実践するもの。地域住民を招いた開催は昨年、新型コロナウイルスの感染拡大で中止となり、2年ぶりとなった。

共育フェスティバルは12回目の開催で約500人が来場。「学び愛、笑い愛、支え愛」をテーマにコロナ禍の状況でも子どもたちが希望を持てるようにと、当日がハロウィーンであることにちなんだゲームコーナーやコンサート企画、科学実験教室、工作教室など17のプログラムが企画された。

今回は、感染症対策の一環と



「スポーツフェスティバル」学生が見守る中、平均台に挑戦

して、事前に申し込みを済ませた親子のみの参加としたほか、絵本の読み聞かせをオンラインで限定配信した。

学生企画委員の代表を務めた久保田結菜さん(初教3)は、「前夜まで心配な部分を学生同士で話し合い準備を進めた。子どもたちの笑顔をみて、やってよかったと思ってる」と笑顔がこぼれた。

健康、スポーツのイベントも

人間開発学部地域ヘルスプロモーションセンターでは10月24日、「地域交流スポーツフェスティバル」を同キャンパスで開催。親子連れら約200人が参加した。2年ぶり6回目の開催となった同フェスティバルでは、健康体育学科の学生、教員らが運動施設を生かした体力測定や食育講座、未就学児童向けのアスレチックコーナーなど幅広い年代が楽しめるよう10ブースを用意した。

体力測定やスポーツ科学に関する体験ブースで専門的知識を持った教員と学生が、測定結果を基に来場者にアドバイスを行ったほか、アスレチックコーナーでは、学生たちのサポートを受けながら子どもたちが次々と平均台や跳び箱に挑戦していた。



「共育フェスティバル」ミュージックキャラバンは歌と演奏で子どもたちを楽しませた

変貌する「渋谷」を解析 オンライン渋谷学シンポ

国学院大学研究開発推進機構の令和3年度オンライン渋谷学シンポジウム「東京渋谷を科学する〜歴史・民俗・宗教から見た渋谷学の今後、そして可能性〜」が、録画配信(10月28日・11月6日)と総合討議のライブ配信(11月6日)の2部構成で開催され、大規模再開で変貌する渋谷を解析した。

録画配信では、渋谷学を立ち上げた上山和雄・名誉教授が基調講演し、歴史学の手塚雄太・文学部准教授、民俗学の高久舞・帝京大学文学部専任講師、宗教学の秋野淳一・神道文化学部兼任講師の3氏がこれまでの研究成果を報告。林和生・文学部教授が司会を務めた総合討議では、伊藤毅・青山学院大学客員教授と橋元秀一・経済学部教授が提起した問題点について、「学際的な研究で各自の研究の幅も広がった」とする3人の研究者が答える形で討論が展開された。

渋谷の発展を幕末・維新期まで遡って研究する手塚氏は、「戦前は『住みよい街』を目指し、戦後になって(ヨーロッパ的な)人々が集う広場の空間が形成された」と指摘。さらに「渋谷学に関わる人を増やすためにも、駅周辺に限定せず周辺の住宅地まで研究対象を広げるべきだ」と述べた。

「人が生活する限り、渋谷にも民俗が存在する。重層的、複合的な都市では従来の民俗調査とは異なる手法が必要」と語る高久氏は、「渋谷の文化を形成する住民・行政・企業・外来者・情報の5つのアクターのバランスを見つめ直す必要がある」と述べた。また、1990年代に登場した「消費しない若者」に注目し、「渋谷を訪れるだけの若者が文化の基盤を形成している。その連続性・伝承性をどうとらえるかが課題」とした。

秋野氏は「光と影を併せ持った渋谷」を注視。「渋谷に居場所を失った若者は周辺に拠点を置いたオウム真理教などと結びついた過去がある」としたうえで、「再開で『大人の街』に変貌する渋谷に若者の居場所を作り、介入させる必要がある」と警鐘を鳴らした。

教育開発推進機構 遠隔授業での関係性を探る

令和3年度のFD(Faculty Development)講演会が10月27日にビデオ会議システム「Zoom」を用いたオンラインで開催され、教職員ら約30人が参加した。

この講演会は、大学が組織的に教育内容や方法などの研究・研修を行うFD活動の一環として開催し、今回は「互いの関係性を構築するためのコミュニケーション術―遠隔授業を意識した教員と学生との関係性―」がテーマ。

初めに教育開発推進機構の鈴木崇義准教授が「コロナ禍で学生と直接関わる機会が減る中、本日の講演で知見を得て日々の授業に生かしてほしい」とあいさつ。続いて葛文綺愛知学院大学准教授が講演を行った。

葛文綺准教授は「オンライン授業には、不登校気味だった学生が授業に参加するようになるケースがあるなどのメリットがある。半面、表情や目線など非言語の情報が得にくく、学生の理解度などを雰囲気や反応でつかめない、コミュニケーションに齟齬が生じるといったデメリットがある。学生の成長には適切に褒めること、叱ることが必要だが、学生にとって教員の言葉は重い意味をもつため、信頼関係が必要。そのために短時間でも学生と話す時間を持つなどコミュニケーションを工夫してほしい」と語った。その後は、教員と学生のコミュニケーションセッションの類型から適切な指導や対応を探るワークを行い、学生との関係構築、接し方について考えを深めた。

国学院大学創立記念祭ルポ

心身清め祭儀に臨む
祭儀員、学生の姿は

国学院大学の祭儀はどのように行われるのか。11月1日に執り行われた創立記念祭と関係物故者慰霊祭取材した。

午前9時過ぎ、学内の祭式教室に入ると神殿奉斎員や祭儀員らが斎服を着て、準備を進めていた。祭儀直前とあって緊張感が漂う。神殿や関係物故者慰霊祭を行う百周年記念講堂では、早朝から祭儀員や瑞玉会の学生、総務課や管財課などの職員が総出で入念な清掃、準備を続けた。

午前10時、秋晴れの下で創立記念祭が始まった。雅楽が流れる中で、祭員が神殿にコマや海、山の幸などを奉納する。齋主が祝詞を奏上し、神道文化学部の学生による舞も奉納された。

引き続き、百周年記念講堂で行われた関係物故者慰霊祭は、他界された本法人に関わりがある方の御霊を招き、後進の行く先をお守りいただくよう祈願する祭だ。齋主が故人をしのぶ祭詞を奏上、紅白の布をつけた神を手にした学生が釈道空（折口信夫）の和歌に作曲舞した「慰霊の舞」を舞った。

祭儀後に、祭儀員と学生に話を聞いた。若手の祭儀員、前島司さん(教務課書記=写真上)は入職8年目。当日は、大塚によるお祓いや、神饌を神前に持ち運ぶ役に就いた。「祭儀では流れを止めることがないよう常に気を張っている。無事に終わって安堵した」と振り返った。実家は長野県の神社で、父が宮司を務める。「神事を大切に神社や大学の神殿を守っていきたい」。



「慰霊の舞」を披露した瑞玉会の下岡紗耶加さん(神文3=同下)は、4年生の先輩から教えてもらいながら稽古を重ねてきた。「普段、舞うことが多い神楽舞とは違う動きをするため、神経を使った。来年は自分が後輩に指導をする番なので、祭儀の意味も含めてしっかりと伝えたい」と話した。



国学院大学 神殿と祭儀 神道文化学部・茂木貞純教授に聞く

危機こそ原点を顧み
本質の把握を

鎌倉時代、順徳天皇による『禁秘抄』には「先ず神事、後に他事」と書かれている。鎌倉時代は武家が政権を掌握し、公家にとっては危機感を覚える時代だった。だからこそ原点を顧みて、本質を把握しようということだったのだと思う。今のコロナ禍においても共通して、先が見通せない時代だからこそ原点を大事にしようという考えだ。

奉仕する神役(の装束を参考にしながら、動きやすいよう工夫している。今は女性神職が増えていることから、大切なことだ。祭儀に奉仕する心とは、何でしょうか

日本の国柄と云えば、「神国」という言い方があるが、神々をお祀りすることは国柄の原点とも言える。入学奉告祭など大学独自の祭儀も含めて、年間20回を超える厳粛な祭りができているのは非常にありがたいことだ。

国学院大学は神職養成機関として重要な役割をもつ大学なので、神殿や祭儀が持つ意味は非常に大きい。大学の母体は、明治15年に創設された皇典講究所だ。初代総裁の有栖川宮職仁親王は、告諭で日本の「国柄」を明らかにし(国体ヲ講明、道徳・道義心をそなえた「人柄」を養い育む(徳性ヲ涵養)こと)で、(本ヲ立ツル)ことが重要であるとの精神を示された。

神職奉斎員として16年間、国学院大学の祭儀を執り行ってきた。大学における祭儀の意義は何でしょうか

国学院大学の祭儀を務める神職奉斎員の茂木貞純教授(神道文化学部)に、祭儀を続ける意義や、奉仕する心について聞いた。

全国には約8万の神社があるが、それぞれ由緒、歴史が異なる。それぞれの祭儀があり、地域の人にとって生きるための力になっている。過疎化や事業承継問題に直面している。祭儀が成立するには心身を清めることが大前提で、その上で神職奉斎員、祭儀員が正しい作法を身に付けねばならない。祭儀によって雰囲気も異なる。例えば11月に行う関係物故者慰霊祭は、創立以来の院友の御霊とともに、1年間に他界された大学に関わりがある方の御霊を招き、慰霊し後進の行く先をお守りいただくよう祈願する祭だ。

祭儀が成立するには心身を清めることが大前提で、その上で神職奉斎員、祭儀員が正しい作法を身に付けねばならない。祭儀によって雰囲気も異なる。例えば11月に行う関係物故者慰霊祭は、創立以来の院友の御霊とともに、1年間に他界された大学に関わりがある方の御霊を招き、慰霊し後進の行く先をお守りいただくよう祈願する祭だ。

神道文化学部の学生による「慰霊の舞」や、フォイエール・ホール混声合唱団による追悼歌(今年は感染症対策のため見送り)を奉納する。奉仕をする学生たちに祭儀の意義や雰囲気を感じてもらいたい。将来に生かしてほしい。来年3月で定年を迎える私自身にとっても今年最後の奉仕になる。一つ一つの祭儀に丁寧に取り組んでいきたい。

時代とともに変化している部分はあるところでしょうか

例えば祭りで着る女子装束は、かつては平安時代の女官の装束でしたが、奉仕しにくいとの声があり、采女(宮中)で新嘗祭に「瑞玉会」という伝統のサークルで、学生たちが作法や雅楽、舞などの稽古に取り組んでいる。代々の先輩の教えを継いで、率先して神職の掃除などを行う。戦後、神道に対する風当たりが厳しかったが、学生たちは伝統を守りながらも時代ごとに新しい考えを持ちながら、祭儀に参加してきた。本学で経験したことや、卒業後に神職になった時も役立つだろう。

祭儀では学生たちが祭員や舞人などで奉仕しています



もてぎ・さだすみ 専門分野:神道学、神社祭祀、戦後神道史 埼玉県熊谷市の古宮神社の宮司も務める



3月下旬	2月23日	2月11日	1月1日	12月下旬	11月4日(または1日)	6月30日	5月1日	4月1日	毎月1日	
卒業奉告祭 法人各設置校で学びを終えて卒業する学生・生徒・園児を奉告し、在学中のご神恩に感謝を捧げ、今後さまざまな面で活躍し、有為な人材となるよう祈念する。	天長祭 天皇陛下のお誕生日を壽ぎ、陛下のご長寿ならびに国民の平安をお祈りする。	建国記念祭 初代天皇である神武天皇が日本の国を始めた日をお祝いし、皇室の繁栄と国家の隆昌を祈念する。	歳旦祭 新しい年の訪れをお祝いし、皇室の弥栄と国家の繁栄、世界の平和ならびに学校法人国学院大学のさらなる発展を祈念し、一年の誓いを新たにす。	大祓(年越の祓) 自らの心身の穢れ、災厄の原因となる諸々の罪や過ちを祓い清める行事で、毎年6月と12月の晦日に行われる恒例式。	関係物故者慰霊祭 皇典講究所初代総裁・有栖川宮職仁親王をはじめ、創立以来の関係者を慰霊する祭典。	大祓(夏越の祓) 自らの心身の穢れ、災厄の原因となる諸々の罪や過ちを祓い清める行事で、毎年6月と12月の晦日に行われる恒例式。	創立記念祭 学校法人国学院大学の母体である皇典講究所が有栖川宮職仁親王の告諭によって創設された日をお祝いし、建学の精神を振り返り法人のさらなる発展をお祈りする。	神職鎮座記念祭 国学院大学神殿が、昭和5年5月1日に御鎮座されたことを記念・祝福し、御祭神の御神徳をいただき本法人のますますの発展を願う。	入学奉告祭 法人各設置校に入学する学生・生徒・園児を奉告し、勉学に励む誓いと、これからの学校・園生活が健康でさらに充実したものになることをお祈りする。	月次祭 毎月行われるお祭り。国の平安ならびに学校法人国学院大学の隆昌と学生・生徒・園児・役職員等の弥栄を祈念する。

◆国学院大学神殿とは
渋谷キャンパス正門脇に鎮座する国学院大学の神殿は、天照大御神を主神とし、天神地祇八百万神をお祀りする。本殿は銅板葺き流造り。麴町区飯田町(現在の千代田区飯田橋)から現在の渋谷キャンパスに全学移転したのを機に、明治・大正の実業界の元老として活躍した和田豊治理事の指定寄付を受けて建設された。昭和5(1930)年4月30日に神職祭・鎮座祭を斎行し、翌5月1日に御鎮座奉祝祭を斎行し以後、この日を神職御鎮座の日と定めている。

◆国学院大学 年間の主な祭典
毎月行われるお祭り。国の平安ならびに学校法人国学院大学の隆昌と学生・生徒・園児・役職員等の弥栄を祈念する。

◆国学院大学神殿とは
渋谷キャンパス正門脇に鎮座する国学院大学の神殿は、天照大御神を主神とし、天神地祇八百万神をお祀りする。本殿は銅板葺き流造り。麴町区飯田町(現在の千代田区飯田橋)から現在の渋谷キャンパスに全学移転したのを機に、明治・大正の実業界の元老として活躍した和田豊治理事の指定寄付を受けて建設された。昭和5(1930)年4月30日に神職祭・鎮座祭を斎行し、翌5月1日に御鎮座奉祝祭を斎行し以後、この日を神職御鎮座の日と定めている。

◆国学院大学における年間の主な祭典は左表の通り。

詳細は本学HP「国学院大学メディア」に掲載

インフォダイジェスト

…在学生 …保護者 …卒業生 …一般 …受験生
内容 日にち 時間 場所 対象 申し込み 料金 問い合わせ

大学からのお知らせ

令和4年度 一般選抜入試のご案内

来年度の一般選抜入試を下表の日程で実施します。入試制度のV方式とA日程同時出願や、複数学科を併願した場合、2回目以降の受験料を割引する応援割も用意。詳細は入学試験要項で確認してください。

※受験ポータルサイト「UCARO」上でのインターネット出願となります

☎入学課 (☎03・5466・0141)



卒業式・卒業証書・学位記並びに修了証書授与式について

令和4年3月20日(日)

[卒業式]

場 グランドプリンスホテル新高輪

対・時

▶ 法学部・人間開発学部 = 10時～

▶ 経済学部 = 12時30分～

▶ 文学部・神道文化学部・専攻科・別科 = 14時30分～

[卒業証書・学位記、修了証書などの授与]

対・時・場

▶ 法学部 = 12時30分～、渋谷キャンパス

▶ 人間開発学部 = 13時～、たまプラーザキャンパス

▶ 経済学部 = 14時45分～、渋谷キャンパス

▶ 文学部・神道文化学部・専攻科・別科

= 16時45分～、渋谷キャンパス

※新型コロナウイルス感染対策のため、参列は学生のみとなります

☎総務課 (☎03・5466・0111)

感染が疑われたら保健室に連絡を

新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがあるとされた方は、必ず保健室にメールか電話で

連絡をしてください。

▶ 保健室アドレス hoken@kokugakuin.ac.jp

▶ 渋谷TEL (平日・土曜9時～17時)

☎03・5466・0148

▶ たまプラーザTEL (平日・土曜9時～17時)

☎045・904・7660

イベント



令和3年度国際研究フォーラム「日本の宗教文化を撮る」

今は、誰もが写真や動画を撮る時代になり、スマートフォンを 통화機能ではなくカメラの機能で選ぶ人も多い。誰もがいつでも撮り、発信をする。ネット上では、「映える」ものが人気を集める。このような時代だからこそ、今回は「日本の宗教文化を撮る」ことをテーマとし、その難しさ、面白さ、危うさ、楽しさを議論します。

日・時 12月11日(土)13時30分～17時30分

申し込みは12月4日(土)まで

料 無料

場 研究開発推進機構事務課

(☎03・5466・0104)



学生によるオンラインクリスマス企画「親子で簡単クッキング」

親子で行う料理講座です。事前に準備していただく材料をお知らせしますので、画面を見ながら一緒に作ってみましょう！ お子さま中心で作れるように、極力、火を使わずに作れるクリスマスにぴったりのレシピを用意します。お子さんとお父さんで挑戦し、お母さんへのクリスマスプレゼントにしてみたいかをご紹介します。お料理だけでなく、食育のお話もします。「食」について楽しく学びましょう！

日・時 12月11日(土)10時～11時30分

場 幼児～小学校低学年のお子さまとその保護者

令和4年度 一般選抜入試日程

入試制度	試験日	出願期間 (消印有効)	合格発表
V方式 (大学入学共通テスト利用入試)	1月15日(土)～16日(日) 本学個別試験なし	1月4日(火)～14日(金)	2月14日(月)
A日程 (全学部統一)	3教科型	2月2日(水)	
	得意科目重視型	2月3日(木)	
	学部学科特色型	2月4日(金)	
B日程	3月2日(水)	1月4日(火)～2月22日(火)	3月11日(金)

※試験科目などの詳細については入学試験要項 (受験ガイド) で確認してください

キャリアサポート

※詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡから行ってください

OBOG・内定者アドバイス会

各業界で活躍する先輩や内定者(4年生)から、会社の実態や就職活動に関するアドバイスが聞ける企画です。人事担当者には聞きづらい質問も、先輩であれば気軽に聞け、業界や企業の実態についてリアルを知ることができます。採用面接では、訪問したOBOGの人数や印象を聞かれることもあります。先輩からアドバイスをもらいましょう！ オンライン開催。

日・時 12月18日(土)10時～11時30分、12時30分～14時、15時～16時30分の3部制 ※各部40分2ターン (10分休憩)

場 1～3年生・修士1年生

他大学合同グループディスカッション体験会

グループディスカッションにおけるポイントと対策について学んだ上で、他大学の学生と、本番さながらのグループディスカッションを行う企画です。一人では練習や対策が難しいグループディスカッションの経験を積む貴重な機会です。オンライン開催。

日・時 12月15日(水)・来年1月12日(水)14時30分～16時10分

場 1～3年生・修士1年生

料 無料 (献立や必要な材料については11月中旬に公開します)

申し込み期限は12月8日(水)23時55分 (先着20組に達し次第締切)

場 地域ヘルスプロモーションセンター

(☎045・910・3755)



経済学部生を体験する「E-Tour」の実施

高校生(全学年)を対象に、経済学部生を体験する「E-Tour」を実施します。在学生から、「大学での学び方」、「就職活動の経験」などリアルな話も聞けます。オープンキャンパスでは伝えきれない、経済学部の魅力を体験してください。

日・時 12月18日(土)15時～18時

場 高校1～3年生

料 無料

申し込み期限は12月15日(水)12時まで

場 経済学部資料室 (☎03・5466・0342)



「(他が) つくる」個性から、「(自ら) なる」個性へは、前回のテーマでした。キリスト教の欧米社会は「つくる」文化ですが、日本は古来より「なる」文化です。そこで、神道精神を掲げる本学では、「漂えるものを一つに固めなす」という「修理固成」が教育上の根本精神です。人間開発学部も、この教育理念を基盤としています。が、来年新設される観光まちづくり学部も、地域自らが「なる」創生を追究する独自の学部です。しかし、「なる」にするには、「つくる」以上に、多くの手間と工夫が必要です。他方、「なる」本人自身には、なろうとする意欲が求められます。そこで、私たちが願うのが、彼ら自身の「あるべき姿」像の追求、すなわち「愛する自分」探しです。

では、どうすれば「愛する自分」探しができるだろうか。三つに集約できるでしょう。
A 「自分への拍手を」 その方法は、以下の3点です。
① 「できた」(成果)ではなく、「伸び」(過程)で拍手を—受験という欧米風の個人的競争主義の中では成果がすべてだったかもしれないが、未来志向にある今は、結果よりも伸びで測る方法も持つべきでしょう。
② 「初めて(できた)拍手」を—自分の良さや長所を容易に見つけることができる人は良い。だが、多くはそうはいかない。でも、「初めてできた」探しであれば、拍手も容易でしょう。
③ マイナスもプラスに変えてみる「カタツムリ拍手」を—これは、前回も述べました。嫌われるナメクジも、美しい殻をつけてやれば(見方を変えれば)、童謡にも歌われるカタツムリです。

B 「孤高を恐れない」 「愛する自分」を追求していく中で、他者からの孤立を恐れることも起こるでしょう。特に現代は、「リーダー型」人間の時代です。つまり、他から孤立しないか、常にリーダーを張って行動する時代です。従って、「(自ら) なる」個性でなく、「(他が) つくる」個性になってしまいがちです。そのような時こそ、思い切って、仲間や親御さん、そして私たち教師に吐露してください。実は、本稿も、学生さんからの相談への回答でもあるのです。
C 親は「信号機」に しかし、「愛する自分」探しに疲れることがあります。そのような時こそ、親の出番です。「雨ニモ負ケテ、風ニモ負ケテ」良いのです。「負け」勇氣も必要です。そこで、親御さんには、人生の岐路で、「止める」と赤信号、注意しろと黄信号、大丈夫と青信号)を出して欲しいと願います。人生とは、ある意味「愛する自分」探しの旅とも言えます。

「愛する自分」探しの方法

親は「信号機」に



名誉教授 新富 康央

しんときやすひさ
学校法人国学院大学特別参事。人間開発学部初代学部長、専門は教育社会学、人間発達学。新しい時代の子育て論には定評。

近くて遠い？ 遠くて近い？ そんな親の気持ちや子どもの気持ちと一緒に考えませんか？ 新富名誉教授による子育てエッセーを隔月でお届けしています。読者の感想や新富名誉教授への質問をお待ちしています。

渋谷区長迎え2年ぶりに政策提言コンペ



長谷部区長(右手前)、針本学長(左手奥)らを前に学生たちは熱のこもったプレゼンを行った

本学学生が渋谷区の抱える課題について渋谷区長にさまざまな提言をする政策提言コンペが10月27日、渋谷キャンパスで開催された。5回目を迎えた今年度は、「現代の課題とされるデジタルデバイドの解決に向けて」と「コロナ禍で影響を受けた『渋谷』の文化・エンタテインメント活性化による復活シナリオ」の2つのテーマを設け、全学生を対象に提案を募った。

10組の学生がプレゼンテーションを行い、長谷部健・渋谷区長、針本正行学長、サッポロビール(株)の星野茂男・広域法人本部法人統括部長の3人が審査に当たった。審査の結果、区長賞には高齢者のデジタルデバイス(情報格差)の解消のための操作代行機関「デジタル署」の設置を提案した麻生大誠さん(法2)、堀浩輔さん(同)が選ばれた。このほか学長賞、サッポロホールディングス賞には、いずれも行政と学生が連携した高齢者の情報格差解消の提案を行った2チームが選出された。

長谷部区長は「(区長賞のデジタル署の設立は)学生らしく面白い発想だった。(いずれの提案も)渋谷区の課題を真剣に考えてもらった。渋谷区で学んでいることを誇りに思っていて、さらに区のことを知ってもらえたらありがたい」と講評を述べた。コンペ終了後、区長賞に選ばれた堀さんは「難しい課題だったが具体的に重点を置いた」、麻生さんは「努力が報われてうれしい。区長から自分たちと違った視点で指摘がもたらえて視野が広がった」と振り返った。



左から堀さん、長谷部渋谷区長、麻生さん

準硬式野球部

全国ベスト4 3年生幹部がチームを一丸に

国学院大学準硬式野球部が、8月から9月にかけて行われた文部科学大臣杯第73回全日本大学準硬式野球選手権大会でベスト4となる活躍を見せた。昭和23(1948)年創部の同部は昨年、56年ぶりに同大会の出場を決めたが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止となり1年越しでその悔しさを晴らした。

副主将兼主務を務めた渡邊大祐選手(経営3)は「一つ一つの試合、プレーに全力で取り組んだ結果、自分たちの野球ができ100%を超える力を出せた」と話す。同部は3年生で引退し就職活動や学業に専念する。選手としての最終学年を振り返り「新チームをスタートする時に3年生で話し合い『全国を目指すチームに』を目標に掲げた。主将を日高陽彩選手(法3)が引き受けてくれ、切磋琢磨も求めつつ明るくチームを引っ張ってくれた。もう一人の副主将・山田和輝選手(法3)と3人で、一年間部員とのコミュニケーションを心がけて活動に取り組んだ。2年連続で副主将を任せ、昨年のチームの良い点

を継承することが自分の役割で十分に果たせたと思う」と語った。

同部OBで本学職員の佐野真之監督は「他大と違い、スポーツ推薦がないチーム。いろいろな目標、目的を持って部員が集まる中で日高、渡邊ら幹部がしっかりまとめ役を果たしてくれた」と讚える。

渡邊選手はコロナ禍での活動も振り返り「大学が定める制限ルール内で活動するために、佐野監督には多くの時間を割いてもらった。もともと自主練習の積み重ねが大事なチームだが、コロナ禍で野球や練習への気持ちが強くなった」と振り返る。「全国大会への遠征は多くのOB・OGからの支援がなければ費用を捻出できなかった。先輩たちのお陰で大舞台に挑戦できた」と感謝の思いは忘れない。

チームを受け継ぐ後輩たちには「最後に良いチームで野球ができたと思えるようにがんばってほしい」とエールを送った。



試合に臨む部員たち(準硬式野球部提供)

仙波さん(神文2)明治神宮献詠短歌大会で特選

明治神宮(東京都渋谷区)の秋の大祭を奉祝して行われた第145回明治神宮献詠短歌大会の選歌結果が10月に発表され、献詠総数2099首の中から上位10人へ贈られる特選に仙波綾奈さん(神文2) =写真= が選ばれた。このほか佳作には、本学学生9人が選ばれた。

特選、佳作に選ばれた学生は、いずれも8月に

明治神宮で行われた神職養成課程の指定実習Iを受講し、献詠歌を奉納していた。

短歌大会は10月24日に開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないとして自粛され、宮中の歌会始と同様の作法で仙波さんの作品を含む入賞歌上位4首を明治神宮の神前で奏上する献詠披露式が行われた。

特選に選ばれた仙波さんは「献詠歌は、大好きなものをあきらめても心に残って気になる様子をラムネ瓶のビー玉に例えて詠んだ。短歌を詠んだことがなかったが、ご神前で披露される特選上位4首に選ばれ、すごいことだったと実感した」と喜びを語った。



柔道部 全日本学生柔道 3年連続ベスト16

団体戦の大学日本一をかけて争われた全日本学生柔道優勝大会が11月13日～14日、千葉ポートアリーナ（千葉県千葉市）で行われた。試合は団体戦（体重無差別7人制）で行われ、全国から地区予選を突破した全61大学が参加した。

国学院大学柔道部は1回戦の東海大学札幌に7-0、2回戦の専修大学にも山本瑛介選手（健体4）＝写真右＝らが勝利し4-1と快勝。順調に駒を進め、ベスト16進出を決めた。平成29年以来のベスト8進出をかけた明治大学との3回戦では、4試合で引き分けとなる接戦を繰り広げ、大将の藤井隆也選手（日文3）が技ありで勝利したものの、惜しくも1-2で敗れ、中止となった昨年を除き3年連続で全国ベスト16となった。優勝は東海大学で同大会25回目。



東京学生柔道体重別 押領司選手が3位

全日本学生柔道体重別選手権大会の予選を兼ねた東京学生柔道体重別選手権大会が10月17、23～24日、講道館（東京都文京区）で行われた。国学院大学柔道部からは男子全階級に16人が出場した。

男子90kg級では、押領司龍星選手（経営3）＝写真＝が準々決勝までの4試合のうち3試合で一本勝ちを収める快進

撃でベスト4入りを決めた。準決勝では延長の末、瀧澤秀斗選手（東海大学）に敗れたが、3位入賞を果たした。

この他、男子66kg級の羽田野啓太選手（健体1）、同100kg級の山本瑛介選手（健体4）がベスト8に入った。ベスト16入りを果たした4人を加え、7選手が11月に行われる全日本学生柔道体重別選手権大会の出場権を獲得した。



卓球部女子 全国6位 選手たちが語る 4年間の成長は

来年、創部75周年の節目を迎える国学院大学卓球部。この2年間はコロナ禍で活動を制約されながらも、女子は今年度の全日本大学総合卓球選手権大会（インカレ）団体の部で6位入賞を果たした。卓球は今、五輪で3大会連続のメダル獲得、Tリーグの発足などにより熱気に満ち溢れている。1年生のときからレギュラーとして活躍し、全国上位の実力をもつ前主将の小島叶愛選手（初教4）、阿部里歩選手（神文4）、選手兼主務としてチームを支えた小林美結選手（経ネ4）の4年生3人は、卓球を通じて、大学4年間で何を掴み取り、どう成長に繋げたのだろうか。

◆ 技術力、自立心、 責任感に表れた成長の証

主将、主力選手としてチームを牽引した小島選

手は「高校まではがむしゃらに攻めることだけを意識し試合をしていたが、攻守をバランスの取れた形に変えることができた」と語る。相手に打たせて精神的に追い込み、ミスを誘うなど戦術に広がりが見られるようになったと説明する。「自ら考えて実践するという習慣も身に付けることができた。主将になってからは常にチーム全体のことを考えるようになり、チームの勝利に貢献するという強い思いを持ってプレーするように心がけた」と精神面での成長も。

阿部選手も「町田幸希コーチの指導で、サーブに自信が持てるようになった」と明言する。サーブが上達すると3球目を有利に打ち込み、勝てる可能性が高まるとされる。「試合に自信を持って臨むためのメンタルコントロールも体得した」とも。「今年のインカレ予選リーグでは緊張で不調



左から小島選手、阿部選手、小林選手

に見舞われた時もあったが、小島、小林の同期選手の励ましで気持ちを切り替えられ、チームに貢献することができた」と話す。

選手活動の傍ら主務としてチームのサポート役も担った小林選手は、「大学生になってからは、自主的に変えていく必要性を痛切に感じるようになり、それを実行したことが以前と変わった点だろう」と自身を捉える。また、「選手と主務の両立ができたのは、周囲の協力があってこそ。仲間の大切さに改めて気付いた」と力を込める。

◆ 2選手は実業団に、「経験を生かす」

小島選手と阿部選手は来春以降、実業団リーグに舞台を移し、卓球を続ける。小島選手が十六銀行、阿部選手が豊田自動織機への入社が内定し、両選手とも「大学の名に恥じぬように懸命に頑張る」と決意を新たにする。

子どものころから続ける卓球に、それぞれが心に刻んだ思いも強い。「卓球で悩んでいるとき先輩や同期らに支えてもらった。仲間と支え合う気持ちを忘れずに努力したい」（小島）、「新型コロナという試練を皆で乗り切った経験を今後に生かしたい」（阿部）、「卓球という競技の面白さ、奥深さをぜひ多くの人に知ってもらいたい」（小林）と強調する。

全国大会で好成績続々

令和3年度全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部が10月28日から31日まで所沢市民体育館（埼玉県所沢市）で行われ、国学院大学卓球部では女子シングルスで阿部選手が5位、同



多くのダブルスの大会で好成績を取ってきた小島・阿部ペア

ダブルスで高橋沙希選手（法3）・小畑美菜選手（初教3）ペアが5位、阿部選手・小島選手ペアが6位入賞を果たした。

阿部選手は、2回戦から5回戦まで勝ち進み、迎えた準々決勝。ノーシードの筑波大学の選手に一時はマッチポイントを握ったが逆転され、初のベスト4入りはかなわなかった。

高橋・小畑ペアはノーシードから勝ち進むと4回戦で愛知工業大学のペアを3-2と接戦の末退け、初のベスト8入りを決めた。

2年前の同大会8位入賞の実力者、阿部・小島ペアは4回戦で関東学生1部リーグの中央大ペアを破るなど地力を見せ、2年前を上回る6位入賞となった。

インタビューの詳細は「国学院大学メディア」で公開



表彰式後、福永主将を胴上する選手たち

硬式野球部 東都大学野球連覇 本学史上初の快挙

春リーグに続く優勝を目指した国学院大学硬式野球部は、最終戦までもつれた優勝争いを通算7勝3敗（勝率7割）で制覇。本学史上初となる春秋連覇を果たした。

10月22日の亜細亜大学との1回戦では、一回表、2死二塁から福永奨主将（健体4）が右翼に適時打を打ち先制すると、二回表にも2点を追加しリードを広げた。直後に1点失うも六回表に1点を加え4-1で勝利を収めた。

同大との2回戦（25日）では、先制を許した直後の二回裏、福永主将のソロ本塁打で同点とする。六回表に再び2点のリードを許したが、すぐさま反撃を開始。福永主将の適時二塁打などで一挙5点を挙げて逆転勝ちし優勝に大きく近づいた（6-3）。

ライバル校が敗れ優勝に王手をかけて臨んだ中央大学との1回戦（28日）は0-1で敗れ、優勝争いは最終戦となる2回戦にもつれこんだ。

翌29日の2回戦では、一回裏に2死一・二塁か

ら瀬戸成一郎選手（日文4）が適時二塁打を打ち2点を先制し、二回裏にも2点を加えた。先発の坂口翔颯投手（経営1）は六回途中まで投げ5安打1失点に抑えた。七回裏には押し出し四球で1点を追加。

粘る中央大学も九回表、1点を返して追いつけたが3番手・池内瞭馬投手（経ネ4）が最後の打者を三振に仕留め、リーグ優勝を決めた（5-2）。連覇達成の瞬間、ナインが集まりマウンドに歓喜の輪ができると、スタンドからは大きな拍手が送られた。

シーズンを通して攻守に活躍した福永主将には最高殊勲選手、1年生ながら先発で5勝（勝率10割）を挙げた坂口投手が最優秀投手を獲得したほか、一塁手の吉川育真選手（経2）がベストナインに選出された。本学硬式野球部は11月20日から神宮球場で行われる明治神宮野球大会に東都リーグ代表として出場し、念願の全国優勝を目指す。



ベストナイン（一塁手）の吉川選手



最優秀投手の坂口選手

最終成績

順位	チーム	勝	負	勝率
1	国学院大	7	3	0.700
2	青学大	6	4	0.600
2	駒沢大	6	4	0.600
4	亜大	5	5	0.500
5	中央大	3	7	0.300
5	日本大	3	7	0.300

鳥山泰孝監督コメント

試合に出られなかった部員も含め、最上級生が役割を果たしてくれた。新戦力も活躍し、チーム力で掴んだ連覇だ。

福永奨主将コメント

6月の全日本大学野球選手権での悔しさが連覇に繋がった。明治神宮野球大会では東都代表として結果を出したい。

若木祭 対面とオンラインで活動披露

国学院大学の学園祭である第139回若木祭が11月1日～3日に渋谷キャンパスで対面とYouTubeでのオンライン配信を併用したハイブリッド方式で開催された。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大でオンライン開催となり、対面で企画が行われたのは2年ぶり。期間中は各会場への入場者上限を設けるなど感染予防策を講じ、参加団体はブースやステージを通じて活動の成

果を披露した。

ステージでは全学応援団＝写真左＝によるリーダー公開や音楽研究会＝同右＝による生演奏などが披露されたほか、YouTubeではマンドリンクラブによる演奏や奇術研究会エゼクトーレによるカードマジック、フラメンコサークルRojos Pimientosによる舞踏披露などをライブ配信。事前に収録した動画による部会紹介も行われた。



K:DNA——創立139年目を迎えた国学院大学の「遣伝子」…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

陸上競技部

全日本大学駅伝 過去最高4位 島崎選手が区間新・伊地知選手が区間賞

秩父宮賜杯第53回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月7日、愛知・熱田神宮から三重・伊勢神宮内宮を繋ぐ全8区間106.8kmで行われ、オープン参加2チームを含む全27チームが出場した。国学院大学陸上競技部は5時間14分53秒で過去最高となる総合4位でゴールし、2年ぶりにシード権を獲得。1月に行われる箱根駅伝に向けて弾みをつけた。

学生3大駅伝の初戦となる10月の出雲駅伝で4位となっていた本学は、同駅伝と同じく1区を任された島崎慎愛選手（経営4）が好走。残り1kmから駒沢大学、中央大学と激しい先頭争いを繰り広げ、惜しくも区間賞はならなかったものの1秒差の区間3位・区間新で襷を継ぎ、チームに勢いをつけた。

2区・木付琳選手（経4）は後続から追いついた大学とともに先頭集団で走り、後半も耐え抜いて先頭から15秒差の5位で中継所に飛び込む。3区・中西大翔選手（健体3）、4区・藤木宏太選手（神文4）は序盤の主要区間で順位が激しく変動する中、7位とシード権内を維持しレースは後半戦に突入した。

5区の沼井優斗選手（健体1）は大学駅伝デビュー戦で、後半苦しんだものの10位で6区・坂本健悟選手（経3）に繋ぐ。坂本選手が順位を2つ上げ8位とすると、7区の平林清澄選手（経営1）が区間3位と出雲駅伝

に続く快走を見せ、7位まで順位を上げた。

最終8区は最長の19.7km。アンカーを任された伊地知賢造選手（健体2）が、序盤から快調に走り先行する大学を次々と捉え、3人抜き。区間2位の選手を21秒も上回る激走で区間賞を獲得。過去最高となる総合4位でゴールテープを切った。

前田監督は「調子の良かった7区、8区で勝負ができればと考えていた。選手たちはよくがんばったが、箱根駅伝に向けまだまだやれる。表彰台を目指していきたい」と語った。

区間賞を獲得した伊地知選手は「力を振り絞って順位を上げていくことができ、手応えを感じるレースだった」と語った。

学生3大駅伝の最終戦である箱根駅伝は、令和4年1月2日、3日に東京・大手町の読売新聞社前から箱根・芦ノ湖までを往復する全10区間217.1kmで争われる。

総合順位

順位	大学名	総合成績
1	駒沢大学	5:12:58
2	青山学院大学	5:13:06
3	順天堂大学	5:14:20
4	国学院大学	5:14:53
5	東京国際大学	5:15:13
6	早稲田大学	5:16:29
7	明治大学	5:16:46
8	中央大学	5:17:06

以上、上位8校がシード権獲得

出場選手成績

区間	氏名	学年	タイム	区間順位
1	島崎 慎愛	経営4	27分 6秒	3位 (区間新)
2	木付 琳	経 4	32分 4秒	6位
3	中西 大翔	健体3	34分41秒	11位
4	藤木 宏太	神文4	34分27秒	7位
5	沼井 優斗	健体1	37分24秒	11位
6	坂本 健悟	経 3	38分16秒	7位
7	平林 清澄	経営1	52分22秒	3位
8	伊地知賢造	健体2	58分33秒	1位

区間順位はオープン参加の2チームを含む



3人抜きで区間賞を獲得した伊地知選手

区間新記録(区間3位)の島崎選手



©月刊陸上競技

区間3位と好走した平林選手



©月刊陸上競技

柔道部

相田選手 グランドスラムバクーで5位

柔道の国際大会であるグランドスラムのパクー大会（アゼルバイジャン）が11月5日～7日に行われ、国学院大学柔道部の相田勇司選手（法4）が男子66kg級に日本代表として出場した。

相田選手は1回戦、2回戦を突破し、準々決勝で敗れるも敗者復活戦から勝ち上がり3位決定戦に進出。惜しくも敗れ5位となった。相田選手は令和2年の講道館杯で2位、元年のグラ

ンドスラム大阪で3位、オーストリアジュニア国際で優勝するなど国内のみならず国際大会でも活躍している。

グランドスラムは国際柔道連盟が主催するワールドツアーの一つ。各階級に各国2名の代表が出場でき、オリンピックや世界選手権と並ぶ重要な大会に位置づけられている。



Ⅲ面に柔道部関連記事